

令和6年8月8日

各位

全国健康保険協会  
理事長 北川 博康

## バイオシミラーに関するオンラインセミナー開催のお知らせ

拝啓 略下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、弊協会は、厚生労働省の第4期医療費適正化計画においても重点項目として掲げられるバイオ後続品（以下、バイオシミラー）の普及促進を目的に、弊協会の加入者約4,000万人の診療報酬明細書（レセプト）データに基づくバイオ医薬品・バイオ後続品の使用状況の分析をはじめとした事業を実施しております。

この度、本事業の一環として、全国の医療機関の皆様を対象に、バイオ後続品の促進をテーマとしたオンラインセミナーを開催する運びとなりましたので、詳細下記の通りご案内申し上げます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

記

### 【演題（仮）及び演者】

バイオシミラー普及の現状と協会けんぽ事業の紹介

東京薬科大学薬学部

教授 益山 光一（座長）



病院薬剤部におけるバイオシミラー促進の意義

医療法人鉄蕉会 亀田総合病院

薬剤部 部長 舟越 亮寛



院内におけるバイオシミラー促進の取組事例

医療法人鉄蕉会 亀田総合病院

薬剤部 岡田 拓郎

### 【セミナー概要】

日時： 令和6年9月9日（月）午後7時～8時 参加費： 無料  
場所： オンライン開催（Zoom ウェビナーを使用） 申込方法： 裏面に記載  
対象： 医療機関の薬剤部、各診療科、他関係者  
主催： 全国健康保険協会（事務局：東京海上ディーアール株式会社）

以上

## 【お申込み方法】

右記の QR コードから参加申し込みをお願いいたします。

なお、セミナー当日は参加者様メールアドレス欄にご記入頂いたメールアドレスを入力して Zoom ウェビナーにサインインください。



参加申込フォーム

## 【主なご登壇者のご経歴】



舟越 亮寛 先生

医療法人鉄蕉会 医療管理本部 薬剤管理部 部長 兼 亀田総合病院 薬剤部 部長  
上記職に加え、厚生労働省の薬事審議会を始め多くの協議会にて委員を務める。亀田総合病院は、院内のバイオシミラー使用促進に一早く取り組む。



益山 光一 先生

東京薬科大学 薬学部 医療薬物薬学科 薬事関係法規制研究室 教授  
1992 年厚生省入省後、2014 年に退省まで医薬・薬事行政に関与。2005 年の医療課在籍中にジェネリック対応施策関係、2007 年の審査管理課在籍中に日本でのバイオシミラー承認申請や審査手続に関する制度設計等の経験を有している。

## 【特別コラム ～日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会 代表理事～】

### バイオシミラーは「患者、処方医、国の三方よし」の取り組み

#### バイオシミラーの有効性について

2021年に国内医師1,000人に実施した「バイオシミラーに関する意識調査」によると、処方医の約20~40%が「有効性」と回答しています。一方で、欧米に目を向けると、欧州リウマチ学会、欧州クローン病・潰瘍性大腸炎会議、米国臨床腫瘍学会ではバイオシミラーが治療ガイドラインに搭載されており、バイオシミラーの有効性を検証の上で標準治療に採用する動きが盛んとなります。日本においても日本がん治療学会がフィルグラステムの適正使用をガイドラインに記載しており、今後益々臨床エビデンスの集積が進んでいくと考えられます。

#### 臨床現場におけるバイオシミラー導入事例

臨床現場における先進的な事例に目を移すと、ポイントは以下の通りです。まず薬剤部の薬剤師がバイオシミラーに対する情報収集や使用状況の調査、院内周知を行うこと。そしてフォーミュラリーを導入すること、レジュメンに搭載することです。また、病院経営トップの考え方も非常に重要で、病院の医薬品の高騰に対する対応策として、バイオシミラーの導入の意思決定が出来るかが非常に重要になってくると考えています。



#### 執筆者紹介

##### 武藤 正樹 先生

日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会 代表理事

現在は、厚生労働省の医療計画見直し等検討会座長や中医協委員を歴任。現在は社会福祉法人日本医療伝道会衣笠病院グループ理事を務める。

#### バイオシミラーに関わる診療報酬

ジェネリック医薬品の使用促進の政府目標が掲げられた際に、ロードマップに従って、診療報酬の設定が行われたことは、皆様のご記憶にも新しいところかと思えます。バイオシミラーにおいても、新目標が設定され、「骨太の方針（経済財政運営と改革の基本方針）」にも書き込まれましたので、使用促進を促すための政策パッケージとして、診療報酬への反映が今後一層進むことも十分想定出来ます。医療機関の皆様におかれましても、臨床の観点、患者の自己負担の観点、病院経営の観点、それぞれの観点からバイオシミラーの使用促進を前向きに検討頂けると幸いです。